

西川 コミュニティだより

第59号

■発行／西川地域コミュニティ協議会 電話 0256-88-5900
FAX 0256-78-7544

■発行日／令和6年9月25日
■〒959-0423

■ホームページ／<http://kasaboko.jp>

■住所／西蒲区旗屋701-2

そして、まつりは繋がった

西川まつり実行委員長 八百板 勲



今年も「西川まつり」を無事に終えることができました。

まつり開催にあたり、大変多くの方々からご協力を、ご協賛を、またご参加をいただき、盛況の内に実施することができましたことに感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

江戸期、曾根の代官所時代から連続と続く曾根神社秋季大祭に合わせて行われる西川まつりは、曾根と鎧郷、そして升潟、三つの地域が合併した旧西川町からの伝統行事です。

新潟県内において、屋台巡行を行っているまつりは、村上、新津など数多く存在しますが、これほどの規模を誇る傘ほこ行列が行われている地域は、ここ西川のみです。人の身長の数倍の高さを持つ傘鉾は全国的にも珍しく、「越後にしかわ傘ほこ伝承会」が保存に努めているほか、新潟市民文化遺産にも認定され、保護されています。

大正時代の写真では、近在近郷から多くの人が集まり、神輿巡行を見物する人で道いっぱいとなり、屋台もようやく通行するくらいの賑わいを見ることができました。

江戸時代から続くまつりです。今現在よりも、経済が低迷している時も、社会が混乱している時も、決して絶えることはありませんでした。先人達の努力と英知により、西川のまつりは規模や形態を変化させながらも、その時代に合わせて引き継がれてきました。

曾根神社に残る「明治初期神幸行列帳」によれば、当初、一ノ町（現在の曾根三番町）から六ノ町（同八番町）までであった屋台巡行に、旧富出村（同一・二番町）と新町（同九番町）が後に加えられたという記述があります。子ども傘ほこは、平成の時代になってから新たに行列に加わりました。

※次頁へ



▲屋台が大集合です



▲御旅所からご出発

■西川地域の総人口:10,287名(-36名) ■男:4,979名(-22名) ■女:5,308名(-14名) ■世帯数:4,097戸(-3戸)

()は、前号との比較(令和6年8月末日現在)



▲来年もがんばります。(七番町屋台)

地域の伝統行事として受け継がれている西川まつりですが、近年「町内屋台の曳き手、傘ぼこの持ち手不足や、屋台・傘ぼこの老朽化」は非常に深刻な問題であり、まつりの継続に危機感を抱いています。

今、西川に住む私たちの使命は、まつりを次の世代に責任をもって引き渡すことです。これからも地域の皆様から、より積極的に主体的に「西川まつり」に関わっていただき、次の世代まで残るまつりを一緒に考え、作っていきましょう。



3月 支え合いのしくみづくり会議
市立総合教育センターにて

【福祉】
見守り「情報シート」活用の
講座会はいかがですか！

西川支え合いのしくみづくり

推進員 塚田 良明

実りの秋を迎え、猛暑と新型コロナウイルスの来襲と気の休まらない日々が続いています。

さて、西蒲区では「3のつく日は、支え合いDAY」として、支え合いの大切さの取り組みを推進しています。昨年、西川地区ケア会議で、「倒れている人を発見！あなたならどうする？」⇩高齢者の見守り⇨緊急時の連絡先を分かるようにするには」を

テーマに開催。参加者からの熱心な議論のすえ、連絡先が分かる「情報シート」を作成することができました。さらに、支え合いのしくみづくり会議では「情報シート」活用を検討し、西川58カ所の自治会長さんへ座談会のご案内。

その後、4月下旬サロンで説明会、6月上組自治会で第1回座談会を開催（東町町内会は独自に実施中）。また、包括支援センターさんからも皆様の集まりで各地区にあった「情報シート」活用の座談会開催のご案内をしています。

これから「西川が安全安心で住んでよい地域」を目指し、これを西川の若い世代に引き継げるよう推進して参ります。

情報シート			
氏名		生年月日	
住所		TEL	
近所の方			
近所の方			
近所の方			
～連絡先(優先的に連絡する順)～			
1	氏名	TEL	居住地
2	氏名	TEL	居住地
3	氏名	TEL	居住地

【情報シート】花はベゴニア
(花言葉：幸福な日々)

お問合せ先

西川支え合いのしくみづくり 塚田
住所：特別養護老人ホーム花見の里
(大潟198番地)内

電話：080-11192-7347

【園芸】

花つくりの楽しみ

平野 高橋 和子

西川は、水稲単作地帯で育苗ハウスが、多いことから、そのあと利用として「ストック栽培をしませんか？」と普及員から勧めて頂きました。ストック作りをしてもう30年近くなりました。

弥彦、岩室、吉田、黒崎、味方と多くの仲間も増え、関東、関西方面に出荷しています。

7月の土用の頃にまき、10月の下旬頃に咲きはじめます。

最近、トルコキキョウも作っています。ちょうどお盆に咲いてくれて嬉しい花です。

暑い夏でも、他の花より長く咲いてくれます。寒くなる頃に咲くストックの花は、本当にいい香りで、ハウスの戸を開けると、心が和みます。

皆様、一緒にストック作り、トルコキキョウ作りをしてみませんか。



【国際通信】

アロハ！

オーリス雪恵 (六分出身)

アロハ！

待ちにまつたホノルルフェスティバルがついに、今年の3月にまた開催されました。

コロナ期間の五年間の休止を経てから行われた待望のフェスティバルは、大盛況！ワイキキもアラモアナも久しぶりにたくさんさんの日本人観光客で溢れていた気がします。

ホノルルフェスティバルは、毎年恒例のイベントで3月の最初の週末に行われます。日本を含むアジア各地から参加者が集い、踊りを披露したり、

伝統文化の交流や、食文化を分かち合う大イベント。



金曜日から日曜日にかけて

で行われ、最終日の日曜日はワイキキコンベンションセンターにて、お酒フェアや、日本の観光案内、そしてアメリカでも人気になりつつあるおむすび作りのワークショップなどとても賑わっていました。

夕方からはワイキキのカラカウア通りでグランドパレードもあ



りました。ハワイのマーチングバンドの音楽から始まり、ミスハワイが登場し、フラダンスやポリネシアン舞踊に続いて、日本のお神輿やねぶた祭りの灯籠に見物客も圧倒され、中国の花火を吹き出す龍のフロートにみんな大盛り上がり。

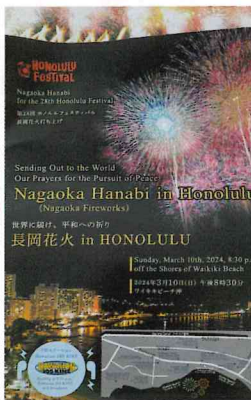


そしてフェスティバルのフィナーレを飾るのは、ワイキキビーチでの長岡花火。

平和の祈りの白菊の花火から始まり、スターメインや色とりどりの華やかで大きな花火にはビーチ中から大歓声が沸き起こっていました。

打ち上げ花火の間は、人種も国境も隔たりになく、ただただみんな同じ空を見上げ感動を分かち合っていたのではないのでしょうか。

どうか来年もまた長岡復興花火がワイキキビーチで見られますように。



【幼児教育】

地域内の幼稚園・保育園のシリーズ ③⑥

ガンバって かいたよ！

みずほ保育園

「あさがおさいたよ」

青・紫のあさがお
きれいにさいたね。
もつともつとさくと
いいなー。



年長組 五十嵐笑菜
劔物 蒼依

「どろどろえん」

だいすきなどろどろ
がいっぱいいるどろ
どろえんにいきたい
な。

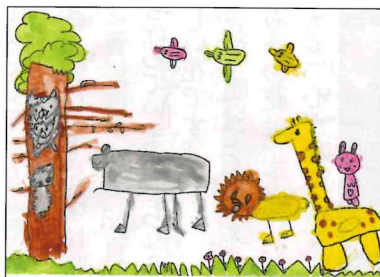
年長組 池田 ゆず
土田 蒼翔



「海のなか」

海のなかはどうなっ
ているのかな。
シャチやサメ、いっ
ぱいのお魚たちと
泳ぎたいな。

年長組 藤田 蓮翔
田中理大朗
筒井 昇海



【国際通信】

フィレンツェのアイリス物語

稲川 祐子 (鱸出身)

英語名フロレンス。イタリア語で「花の都」を意味するフィレンツェは、その名の通り古くから文化・美術、花の名産地としても知られてきた街です。



フィレンツェのシンボルは白地に赤のアイリス(アヤメ科の花)を象徴、文様化した図案の紋章です。ローマ帝国時代の

の紀元前59年、春の到来を祝う花の女神「フロラ」にささげた祭りの時期に街の建設が始まりました。近郊にアイリスの花が群生していたため、この花が紋章に選ばれたと言われます。当時、街はフロレンティアと呼ばれ、後にフィレンツェになったといわれています。元々は赤地に白のアイリスの紋章でしたが、1251年に二大政党が争った後、勝利した政党がこの色を逆転させて、今の白地に赤のアイリスになりました。これ以前にフランスで流行っていた「フルール・ド・リス」の名残を残しつつ、この紋章に



は三枚のはなびらが(三位一体)、受胎告知の絵で大天使ガブリエルが手に持っているの(聖母マリア)にも関係すると言われる、宗教的な意味合いも含まれています。アイリスは、乾燥した気候を好む多年草で、地下にシオウガのような根茎があります。乾燥させた根茎が芳香をもつことから、香料植物として古代より用いられ、栽培されていました。

ジャーマンアイリス

の種のうち白色の花をつけるものをアイリスフロレンティーナとかフロレンティン



アイリスと呼びます。一般に、ニオイアヤメと呼ばれているのはこの種になります。フロレンティーナとはフィレンツェ産という意味で、元々、フィレンツェでは洋服の香りづけとしてアイリスが使われてきました。アンリ・ロペールが調香し、ガブリエル・シャネルの誕生日である8月19日にちなんで命名された「シャネル No.19」の香りの特徴づけるのは、アイリス。初期につくられたこの香水に使われたアイリスは、フィレンツェで作られていたらしいのです。同じ誕生日の私はとても運命的なものを感じますね！

【コミュニティセンター講座案内】

己書 愛しげ道場

日本己書道場 上席師範 伊藤 茂美

己書(おのれしよ)とは今までの常識を覆し、自由に自分らしく描く、全く新しいタイプの筆文字です。

筆使いや書き方はどの常識にもとらわれることなく、ただ心のままに筆を走らせるだけで素敵な文字が描けます。

「文字に自信がない」「絵なんて描いたことがない」そんな不安も心配無用です。

「どなたでも味のある、あなただけの文字を描けるようになる」誰とも比べない。そしていつの間にか自己肯定感もあがる。そんな楽しい筆文字教室です。

講座は予約制になっています。興味はあるけどできるかどうか不安な方も初回は半額でお試しできますので、お気軽にお問合せください。

一緒に新しい趣味を始めませんか。

お問い合わせは伊藤まで
090-1032-3520



【発見】

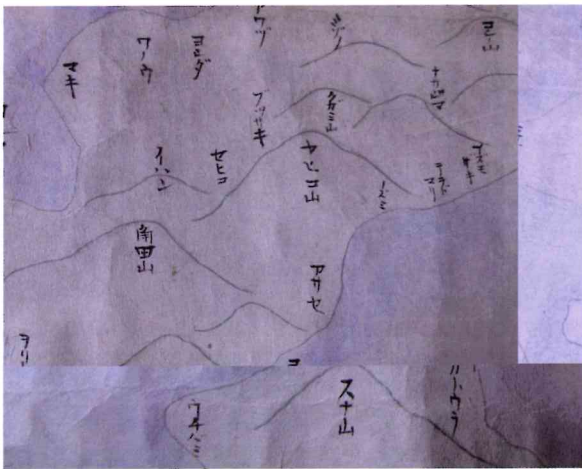
「越後之国古ツ」農家の蔵から発見

西蒲曾根郷ゆかりの文人研究会員 小林 多聞

一月一日発生した能登半島地震は当市に於いても甚大な被害を及ぼし、西蒲区升潟、善光寺地域では家屋全壊や半壊が発生している。

私の実家(旧升潟村)も住宅は大きな被害を受けた。春の田起しなど忙しい時期で、種蒔や家屋の後片付けなどで馳せ参じた。蔵(建坪三十坪、二階建)は、被害はさほどでないように見えるが、下屋は瓦が落ち倒壊、蔵の戸は開かず、タンスやセトモノ箱が倒れ、手のつけようがない。甥、姪も呼ばつて、後片付けをする。農家、商家の蔵は災害、火災などに備えて冠婚葬祭用布団、着物、お米、味噌、種籾などの保存用に別棟で建てられた。

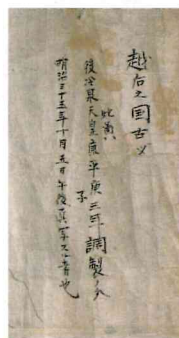
発見した古図は五枚有り、二階の梁



に一升ビン(豊栄町「朝日晴」)包装和紙三枚に包み藁紐で括り付けてあった。虫喰、劣化もなく保存状態は良好であった。

古図の枚数は「越後之国古ツ」一枚・「曾根組絵図(藩名、村名、地名記)」三枚・鎧潟干拓計画予定図大洋紙青コピー一枚(潟境界に巻町、漆山村、大原村、四ツ合村、鎧郷村記)。

「越後之国古ツ」には、「此図後冷泉天皇康平庚子三年(一〇六〇)調整ノ事。明治三十五年(一九〇二)十月五日午後眞写スル者也の記有り」西暦年は筆者加筆)。



また梁に明治二十八年(一八九五)七月二十六日建とある。これらは当時の戸主が保存したものか、定かでないが、由緒の分かる身内は亡くなり、村の長老(九十七歳)を訪ねるに、曾祖父は村行政に関わり、昔からの家で有していたのでないか。昭和三十九年発生の新潟地震当時見つかれば話も聞けたであろうが、この地震で発見できたお宝だから大事に残すように教えを受けた。

令和七年一月開催予定の「昭和・平成昔の町写真展示会(仮称)」に展示予定。

『西川町史考』(その二)

西蒲 曾根郷ゆかりの文人研究会

ここ旧西川町には、昭和から平成初めにかけて各地で刊行された市町村史はないが、それに匹敵する郷土史料『西川町史考』(全35冊)がある。その概容を前編に綴ったが、今回は少し内容に触れてみたい。

創刊号(S45・3刊)は、地名調査が中心で、曾根・鎧郷・升潟の三地区の細かい地字名を列挙、しかもそれを折り込みにした地図に明示してあるので、字名がどこに当たるのかが分かりやすい。現在どのくらい残っているだろうか。

「その3」(第三号・S49・3刊)は、「古老のなし」と「民具の紹介」の二つのテーマが読んで楽しい。例えば「昔の芸者衆のこと」(54頁)は、「TDおばさん(イニシャル名)」が昭和の初め二十二歳でこの道に入ってから取材記録である。町内の置屋は緑屋、角屋、再思楼、梅の屋、いろは屋、金子屋、笹の屋などがあって、芸者は三十数人がいた。それが今、六人になった、と記す。花代を線香代と称したこと、唄や踊り、三味線の厳しい稽古の様子なども興味深い。「今ではもう遠い思い出、何分古い話で記憶違いは、ご勘弁下さい。」との結語から、今日五十年が経

過し、とづくに町から芸者衆の姿は消えてしまった。これは当町だけの話ではないが。

なお本号の巻頭に本間則久、田子了祐両氏による古文書の専門的分析がなされた長文が載る。二人のリードの下、文化財調査員が組織され、以降冊子の書き手は少しずつ増えている。

その5(S51・3刊)に「越後毒消、その他の薬の製造販売に就いて」と、比較的今も関心と呼ぶテーマが載る。四番町の本間キクさんが語り手だった。

その7では八番町の祭り屋台や囃子、その8では七番町の祭り関連について史料紹介がなされている。やはりその8の「西川町本町通りの民家の調査記録」を読むと、家の間取り家屋形態につき一定のルールがあったことが分かる。それも今年正月の地震被害によつて、かつて整然と並んだ雁木、切妻型の屋根が続く古風な景色が、大きく崩れつつある。

このように一々挙げると切りがない程、注目したい記事が点々と連なっている。途中から巻末に町指定文化財の紹介が行われている。今、これがどこに保存されているのか、またそれをふり返り確かめてみようという機運自体が皆無に等しいかもしれない。

昔のものを讀んだり見たりするのは、現在の生活の原型を探るための道しるべとなる。何気なく、たまには図書館で『町史考』を手にとってみたいものだ。

捨てたり壊したりするのが当たり前、人がしゃべらないAIの風下での生活到来に慣れたくはないものだ。



7番町屋台(『町史考』その8より)



善光寺 梵鐘新鑄 記念写真 S27.8.15
(『町史考』その5より)

【文化】

思い出の作品

天路 おさと(旗屋)



xencilabs × GENSEKI
クリエイター応援コンテストに応募した作品です。
お題:ハロウィン



季刊エス&スモールエス (SS)
ペンタブレット de アート投稿コンテスト応募作品
設定:お花畑にいるお嬢様を描きました

【歴史・文化】

「郷土俳人十人集」パート⑥

徐に^{おもろ}歩み進みぬ 虫の声

加藤 嵐涯



【大意】

秋になり、家の近くの草むらで、コオロギやキリギリスが鳴いている。虫たちに明け渡した庭園だ。鳴き声に耳を澄ませつつ、ゆるやかに歩み入り行くことよ。

※日本人の「ものあわれ」を感じる句



以上10人の俳句を紹介したが、それぞれ2句ずつ詠まれていたので、次号以降で掲載したい。これまで御指導いただいた寺尾先生は「月、花(桜や梅の花)、虫の音を愛でる当時の俳人の心が、今よりも強いこと。下女、馬の脚、稲荷・栗を焼く(2句目の俳句より)など当時の人々の暮らしが如実に表現されている」と感想を述べられている。

【祭り】

みさと祭りにでかけませんか！

西蒲中央病院院長 鰐淵 勉

みさと祭を今年も開催いたします！地域交流を深めるこの病院祭も今年で第6回を迎えることができました。

看護師による無料の健康相談や、楽しいゲームコーナーをご用意しております。昨年も好評だった地元的新鲜な野菜の直売や、利用者さまの作品展示もお楽しみいただけます。さらに、ハズレなしの抽選会も予定しております。

入場無料となっておりますので家族やお友達と共に、笑顔あふれるひとときをお過ごしください。職員一同、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

◆日時：令和6年10月19日(土)
◆場所：西蒲中央病院 ※駐車場あります。



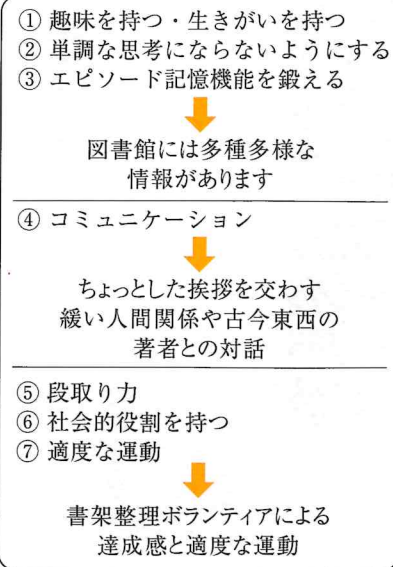
【図書館】
人生100年時代を元気で
過ごすために

西川図書館 辰口 裕美

これをご覧になつて先輩方からは、「なくにを言つてるんだか」とお叱りを受けそうですが、最近特に感じている記憶力・気力・体力の低下。
そんな私ですが、今回お伝えすることは、人生100年時代を元気で過ごすために図書館が有効だということです。

次の視点で、図書館を利用してみただけると嬉しいですよ。

ただ、冒頭のように、私自身が効果をあまり感じられていないのも事実。皆さまから実践していただき、その報告をお待ちしています。



【中学教育】
ポツワナの生徒との国際交流

西川中学校

7月末に西川中学校とポツワナの中学生との国際交流を実現することができました。Zoomでお互いの顔が見えた瞬間に歓声があがりました。西川中の生徒が、部活動を紹介し「あなたもサッカーや走ることは好きですか」と聞くと、「ドッジボールも好きだよ」などと嬉しい答えが返ってきました。一番、盛り上がったのは「給食」の話題でした。「写真のメニューを教えてください」と言われて、混ぜご飯や豚汁を説明すると、「それはおかゆ?」「miso soupは知ってる!」とポツワナの生徒が日本のことを知っていることに生徒たちは嬉しさを感じていました。ポツワナの生徒の紹介からも、日本の生活や文化とは違うという発見が多くありました。生徒たちは、「しつかり伝わるか心配だったけど伝わって、聞きたいことも聞けて嬉しかった」と達成感に満ちた顔で帰っていきました。

この貴重な機会を継続していけるように、また生徒たちと新しい計画を立てていこうと思います。



【お知らせ】
令和6年時代激まつり開催について

がっつー西川実行委員会

今年の越後にしかわ時代激まつりは10月13日の日曜日に開催いたします。

その中で『代官献上米行列』を昨年までは、金剛寺から、ふれあい公園までの道のりを歩きましたが、今年はふれあい公園内のだいろの家から、西川の土手を通って特設ステージまでの道のりに変更となります。歩く距離は短くなりますが、行列に参加していただく方には、公園内を自由に見てもらおう等、楽しんでもらえる時間を増やして、みんなで公園内を盛り上げたいと考えています。

尚、詳細につきましては、越後にしかわ時代激まつりチラシとかわら版にて、ご案内いたします。ぜひお越しください。



編集後記

西川の夏を締めくくる「西川まつり」酷暑に負けず皆様の頑張りで無事に終了するハズが、突然の豪雨。「天候には勝てない!」とは言え、ひと工夫いるのかも知れません。

【編集委員】◎江端 繁◎灰野直義

榎本 博 土田正博